

北陸三県広域リージョン連携宣言書

我々は、「北陸は一つ」のスローガンのもと、北陸三県の産学官が一体となって、北陸新幹線をはじめとする社会基盤の整備、新産業の創出、観光・イメージアップ、企業誘致等の域内投資促進、カーボンニュートラルなど様々な分野で連携を進めてきた。

令和6年3月の北陸新幹線の敦賀開業により、北陸三県の県庁所在地が1時間以内で移動可能となり、北陸が一つの接続した都市圏となったことは、時間的・心理的な距離感が一層縮まっただけでなく、北陸が持つポテンシャルを活かし、地域力を向上させ、新たな価値創造に向けて飛躍する絶好のチャンスである。

近年、国内では人口減少・高齢化の進行や激甚化・頻発化する自然災害、デジタル技術の急速な進展など社会経済情勢が大きく変化し、海外情勢の不透明感が一段と増す中、地域社会の維持・発展は、我が国全体の持続的な成長に欠かすことができない重要な要素である。

北陸地域においても、行政、経済界、大学、研究機関等の多様な主体の緊密な連携により、地域資源や特性を活かして地域価値や競争力を高めるとともに、新たな産業やイノベーションの創出、域内投資の促進など持続的な成長の好循環を生み出すことで、国内外の情勢の変化にも対応できる強い経済基盤を構築していく。併せて、ウェルビーイングを向上させ、一人ひとりが幸せを実感できる地域の実現を目指す。

また、令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨の記憶を決して風化させることなく、一日も早い被災者の生活再建やインフラ復旧、経済・産業の再生に向けて、北陸三県と経済界が連携して創造的な復興に取り組んでいく。

「北陸は一つ」。新たな価値の創造による北陸ブランドの構築と選ばれる続ける北陸の実現に向け、果敢に取り組んでいくことをここに宣言する。

1. 広域リージョンの名称・区域

- (1) 名 称 北陸三県広域リージョン連携
- (2) 区 域 富山県、石川県、福井県の各県全域

2. リージョン構成団体の名称

富山県、石川県、福井県、北陸経済連合会

3. 宣言リージョンの目指すべき姿

これまでの連携基盤をさらに深化・発展させるという共通認識のもと、北陸三県と経済界が一体となって、強い経済基盤の構築とウェルビーイングの向上、さらには能登半島地震等からの創造的な復興に取り組むことにより、「新たな価値の創造による北陸ブランドの構築と選ばれ続ける北陸の実現」を目指す。

4. 宣言リージョンにおいて取り組むことを想定する分野

広域観光・交通、産業振興（スタートアップ支援、企業誘致等の域内投資促進等）、農林水産物・食品・伝統的工芸品等の輸出拡大、カーボンニュートラルなどの分野について、まずは取組を充実・深化させることとし、新たな分野についても、構成団体で協議のうえ、段階的に取組を展開していく。

令和7年10月20日

富山県知事	新田八朗
石川県知事	馳浩
福井県知事	杉本達治
北陸経済連合会会長	金井豊